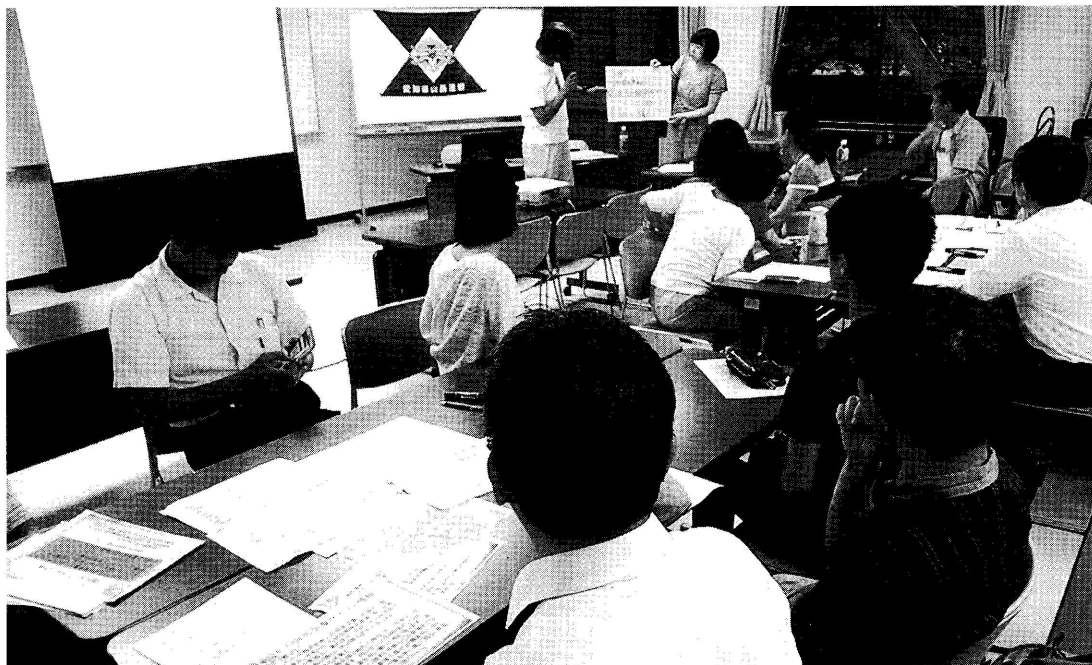


発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 安藤 武典
 編集人 中平等 新一
 名古屋市天白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◆11月24日(金) 第21回「遭難を考える」講演会(県スポーツ会館) <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>

グループ別に遭難疑似体験発表



気象遭難対策講習会開く

気象の基礎や遭難疑似体験など

気象遭難対策講習会が7月11日(火)午後6時より、県スポーツ会館で行われ、講師に気象予報士・大矢康裕氏を迎え、会員、一般など25名が参加した。

講義は一般からの参加もあり気象の基礎から始められ、まず、基礎編から「山岳の天気の基本」として、雲について知ることから、雲の分類と雲形について、天気が悪くなる時に出る雲など、低気圧による雲の変化について学びました。

「どんな時に雲ができるのか」空気は上昇すると冷える(雲ができる)下降すると温まる(雲が消える)「雲ができる条件」として①上昇気流がある②空気が湿っている③大気が不安定」など、また観望気象から「朝から積雲が湧く時は雷に注意」する。止むなく雷雲の中に入ってしまったら、直ちに稜線など高い所からすばやく降りる。木から4m以上離れる(側撃を避ける)雷しやがみの姿勢をとる。そして、低気圧・高気圧と前線の関係。山では「風を読む」ことが重要で、低体温症は強風下で起きる、天気図の等圧線の間隔が狭いほど風が

強い。など山岳では風による影響が大きいことを学んだ。次に応用編では、最新の遭難の事例から、屋久島での遭難事故を基に、遭難の疑似体験(行動シミュレーション実習)をする。

想定事例として「6月9日から屋久島に6人パーティーで3日間の予定で入山、最終日は天候の悪化が予想されている」詳細なペーパーが配られ、これについて参加者が4班に分かれ、各グループは同じ現場にいると思って想像力を働かせ、3日目の行動を箇条書きにまとめ、グループの代表が発表し検討しあった。「危険が予想される時に、いかにして危険を避けるか」「万一、事故に遭った時に助かるためにどう行動するか」普段から考える訓練をしておくことは、いざという時に慌てないためにとっても大事なことでありと結んだ。

最後は、夏山の天気の見通しについて解説があり、午後9時講習会は終了した。

登山の装備は

万全ですか！

(岩瀬 幹生)

少年少女登山教室(親子ふれあい山遊び)

山登りの先生と一緒に沢遊び！ スポーククライミングも体験したよ！

8月20日、日本山岳・スポーツクライミング協会の「少年少女登山教室」を愛知県は「親子ふれあい山遊び」と称して、朝明溪谷で沢登りとスポーツクライミング体験を実施した。

参加者は、子供32人、保護者20人、役員16人の計68人で受付場所の山下小屋に集合した。8月は天候が安定せず、雨を心配したが、前日から雨も上がり開催できた。

開会式後、5班に分かれ入川ポイントへ。花崗岩の澄んだ水の中を歩く。折柄の長雨で水量が多く、大きな岩の間から流れる水圧に負けて登れない場面も見受けられたが、指導員の適切な判断と補助でシャワークライミング、水泳、飛び込みなど楽しみながら沢を詰める。

最後は、堰堤から落ちる水しぶきを浴びて約2時間の沢登りを楽しんだ。

ベースの山小屋に帰るとカレースパゲッティが出来ており、ソーセージなどの副食もあり、緑の中での食事を楽し

んだ。

食後はスポーツクライミング体験、高さ4mほどの人口壁を体験。はじめは戸惑っていた子供たちも回を重ねる毎にうまくなっていく。最高到達点で嬉しそうに笑顔でピース。ヤッタと得意げな顔。そのうちお母さんたちの挑戦も始まった。みんなの声援と笑



顔、スポーツクライミング体験を十分楽しみました。
参加者から、とても楽しく日頃体験できないことを経験したので大変良かった。との言葉をいただいた。
(安藤 武典)

登山教室に参加して

岡田小学校6年

天木 莉子

今年も参加をした理由は二つあります。

一つは、去年も参加をしていて、とても楽しかったからです。二つ目は、また沢をのほりたいという思いや、クライミングにまた、挑戦してみたいという思いがあったからです。去年は仲の良い友達がいなかったけど、今年は二人もいたので去年よりもっと楽しめました。今年はバスで行きました。バスの中でも楽

Ⅱ 29年度確保技術講習会Ⅱ

安全・確実・スピーディーに

確保技術講習会が6月17、18日の2日間、御在所岳北谷小屋周辺に於て実施された。参加者は、第1日目受講生29人(初級20人、上級9人)講師10人、常任スタッフ1人

の40人。2日目受講生22人(初級12人、上級10人)講師8人、常任スタッフ3人の延べ73人で、北谷小屋前のテント場がいっぱいになるほどの盛り上がりになった。

しくあつというまに到着しました。そして沢のほりに行つて川に入る時はとても水が冷たかったです。最初は冷たくてなかなか進めず深くなると川の中に入るのがつらかったです。でもだんだん慣れていって岩からジャンプしてとびこむことも出来るようになりました。沢のほりが終わっておなかをすかせていくとおいしいカレースパゲッティなどがあつておなかいっぱいになったところで、次はクライミングがはじまりました。私は2つのかべに挑戦し登りきることができました。沢のほりやクライミングの時に助けてくれた岳連の人たちのおかげで、安全にケガなくたのしめることができました。とても楽しい一日になりました。ふだんできない経験ができて夏休みの良い思い出になりました。

うなぎ錦三丁目 い ば しょう

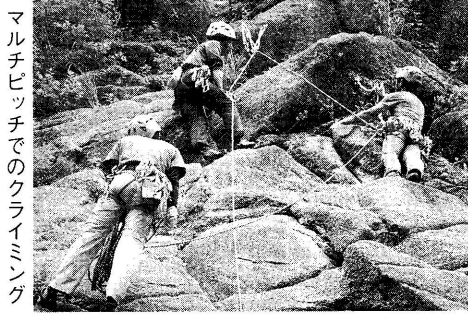
ら ゐ 昇

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号
TEL <052> 951-1166 番
営業時間 午前 11:00～午後 2:30
午後 4:00～午後 8:00
定休日 日曜日・第二・第三月曜日

名古屋駅前の山用品専門店

駅前アルルス

〒450-0002
名古屋市中村区名駅4-4-10
名古屋クロスコートタワー 1F
TEL 052-565-1417



マルチピッチでのクライミング

実技は、初級クラスは、ロープとスリングの結び方、強固なアンカーの構築、自己確保、肩がらみ&デバイスによる制動確保、懸垂下降など、基礎的な講習を行った。

上級クラスは、ロープワークの確認、強固なアンカーの構築とランニングビレイ、肩がらみ&デバイスによる制動確保、セカンドの確保と自己脱出、懸垂下降と登り返し、マルチピッチでのクライミングなどの講習を行った。

今回、開催場所を鞍ヶ池から御在所岳に変更されたことによって、例年と比較するとより実践的な講習を行うことができた。

また、受講生から確保技術に対する意見も積極的に出され、有意義な講習であった。夜は北谷小屋で交流会が行われ、楽しい時間を過ごすことができた。

最後に、このような講習会を行うことによって、山岳会の枠をこえた交流の輪が広がって行くことを期待します。

(多田 純一)

「国体東海ブロック大会」 少年男女共本大会へ

7月15・16日静岡県浜松市に於て第38回国民体育大会東海ブロック大会山岳競技大会が実施され、愛知県は少年男女とも1位となり、10月開催の第72回愛媛国体に出場した。

各選手は次のとおり

▼少年男子 野口凛、百合草
▼少年女子 倉奈々子、石井未来
▼成年男子 飯島裕一、市川隆一（成年女子は不出場）
▼監督 清水正城、大山史洋、岩瀬幹生

第72回愛媛国体山岳競技が10月1・3日行われ、愛知県勢は大健闘、成績次のとおり

▼成年男子 Ⅱボルダリング 33位落選、リード 44位落選
▼少年男子 決勝 Ⅱリード 7位
ボルダリング 6位
▼少年女子 決勝 Ⅱリード 4位
ボルダリング 3位

印象に残った私の登山

14

カナダ・ワプタ氷原 山スキー縦走

豊田山岳会
磯部 誠

「ワプタトラバース」はカナディアアンロックキーで4つの無人の山小屋を繋ぐ全長約50kmの山スキーツアーです。

2015年5月豊田山岳会の6人で行って来ました。今回のパーティーで2人は再訪であるため、山小屋の予約を自分達で行いガイドレスで行って来ました。キャンモアの宿もカナダ山岳会のクラブハウスの使い、カナダの登山環境の良さを実感しました。

入山前日に偵察に行きました。入山地点のペイト湖についてびっくりです。前回氷の上を渡った湖の水が溶けていました。ポー湖湖岸からの入山に切り替えました。先のトレイルをみると300m程先に大きな熊がのっしのつと歩いてる。みるみる近づいてきたので慌てて逃げ出しました。ここまで来て帰ることはできないので、パンフの町で熊スプレーを2本買って熊対策としました。

翌日、下山地点に車をデポし、ポー湖の駐車場に入る

と、カナダの2人組（親子）が先行で入山しており、ちょっと安心して歩き出しました。でも笛を吹いたりびくびくするのは。谷筋に入ると所々雪が割れて、たびたび渡渉を強いられました。今年は日本同様カナダでも暖冬だったようです。でもなんとか5時間ほどでポー小屋に到着しました。ポー小屋には3パーティーがいて氷河救助技術の話もできました。グリズリーに出会った話をする、一日で3頭に出くわしたこともあるそうで、たいしたことないと思われました。

2日目は、バリフォー小屋に、途中セントニコラスとオリブ山のピークに登りながら入りました。セントニコラスはポー小屋から見える尖峰ですが、近づいてみても両側が切れ立った剃刀のようなナイフリッジになっていたがなんとかピークに立て、滑りだけではないワプタ氷原の魅力に触れることができた。

バリフォー小屋に着くと、雪が溶けて小屋が半分氷河の池に漬かっていました。僕達も明日からは引き返す決断をする。僕達は、氷河湖の露天風呂に漬かってさっぱり汗を流し、ワプタ氷河に別れを告げた。

建設業許可を取りたい、日本国籍を取得したい（帰化）、遺言を公正証書で作成したい、戸籍謄本や除籍謄本を代行取得して欲しい、任意成年後見の相談をしたい、会計記帳を頼みたい等々

ご相談は行政書士の西山秀夫へ

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目21番21号
（地下鉄・久屋大通駅から2分）丸の内東桜ビル1004号室

TEL: 090-4857-9130

URL: <http://www.nygs-office.com/>

安心して選べる三河地区
のプロショップ

JR刈谷駅前

穂高

〒448 刈谷市桜町1-13

TEL0566(23)8611

定休日/火曜日

営業時間/10:00~20:00



登山用品豊富!

平成29年度全国山岳遭難対策協議会

遭難数減少も過去2番目！

平成29年度全国山岳遭難対策協議会が、7月7日(金)10時より国立オリンピック記念青少年総合センターで開催され、警察、消防、山岳関係者ら250人が参加した。

会議は、最初に警察庁生活安全局地域課・脇山義人氏から「平成28年における山岳遭難の概況」が報告された。28年の遭難発生件数2495件(前年対比13件減) 遭難者2929人(前年対比114人減)のうち死者・行方不明者319人(前年対比16人減) 負傷者1133人(前年対比18人減) 無事救助1477人(前年対比80人減)で前年よりやや減少したが、発生件数・遭難者数は、統計の残る昭和36年以降で、過去2番目に高い数値だった。(次項参照)

報告Ⅱ「消防機関における山岳救助活動体制及び訓練について」は、静岡市消防局千代田消防署しずはた出張所・河田篤氏、望月将悟氏から、静岡地区は3000mを超える南アルプス山間部を網羅し迅速な対応が図れるようになった。また、数日間の縦走や沢登りなど、ヘリを起動させ

た現地での実践的訓練を取り入れ、静岡県警との合同訓練を実施するなど、技術向上に努めている。と紹介された。

つづいて講演が行われ「コンパス新サービスについて」を山岳ガイド協会・今吏靖氏から、これからは登山届は家族や仲間はもちろん、警察や行政と共有していく時代であり、登山者のほとんどが登山中もスマートフォンを持ち歩いているので、火山情報や気象の急変についても登山中でもリアルタイムで情報が得られる環境にある。これからの登山届けが楽しくなるようなシステムを提案していきたいとのことであった。

講演Ⅱ「日本の登山事故をなくすための課題」として、名古屋工業大学教授・北村憲彦氏が、自然の厳しい環境はいまも変わっていない。いくら登山道が整備されても環境の厳しさまで変わるわけではない。更に大切なのは引き返す判断ができるパーティーでなければならぬ。また、アクシデントをバックアップするためのシステムが必要である。結びで「登山は登山客から自

立した登山者へ」と提言。

次に「事故を防ぐための気象判断」と題して、(株)ヤマテン・気象予報士・猪熊隆之氏が講義。新たな試みとして「ワークシヨップ議題」として参加者によるディスカッションを行った。最近の気象に関係する遭難として低体温症、沢の増水、落雷事故などがある。平地と山とは天気も大きく異なり予報をうのみにするのは危険であり、天気図を理解し予測することが大切で登山する地形や行程に潜む危険を予知し、必要な装備を備えることが重要である。「ワークシヨップ」では、疑似天候が予測される4月30日白馬三國境で1名の遭難者から通報という設定に基づき、これにどう対応するのか、警察、消防、山岳関係者それぞれが検討した。

最後の講演Ⅲは「山岳遭難へのドローン活用事例」で、東京都山岳連盟・中嶋正治氏からあり、都岳連では2年半ほど前からドローンに関する研究を行っており、スカイシカーははじめドローン製造メーカー他5社との連携を結んだとのこと。活用事例として昨年行方不明となった新潟のボーダー捜索で、6月に行った捜索が報告された。最後に、国立登山研修所・

宮崎所長から「山岳遭難事故防止のために」の提案を了承、日山協・亀山副会長より挨拶があり、17時閉会した。
(高橋 優)

愛知岳連・スポーツクライミング確保講習会



富山県国立登山研修所で、7月22・23日スポーツクライミングの確保の講習会を実施した。

愛知岳連の行事として実施したが、新潟、富山、岐阜、三重、埼玉などの県からも参加され、スポーツクライミングの確保についての知識の習得や親睦ができ、大変意義ある講習会となった。

Renopoint

<http://www.renopoint.jp>

Original Wear & Goods

オリジナルウェア・CMウェア (広告掲載)

カジュアルユニフォーム&グッズ

デザイン・企画・制作

お気軽にお問合せ下さい。

特許出願 GLASS PERCH (グラスパーチ)

株式会社リノポイント

〒491-0835 愛知県一宮市あすら1-5-7

TEL:0586-58-5021 FAX:0586-58-5022 E-mail: ito@renopoint.jp

CLIMBING PARK

東三河初のクライミング施設



<http://climbing-park.com>

☎ 0532-26-3737

MONTANA

住所: 愛知県豊橋市関屋町138番地



モンタニア

住所: 愛知県豊橋市萱町5番地 ☎ 0532-55-0125 <http://www.montania.jp>

《全国山岳遭難発生概要》

◆態様別山岳遭難者

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
道 迷 い	1,031	1,134	1,163	1,202	1,116	38.1%
滑 落	380	460	501	501	498	17.0%
転 倒	346	393	401	467	471	16.1%
病 気	186	221	187	232	229	7.8%
疲 労	132	137	162	172	204	7.0%
そ の 他	390	368	380	469	411	14.0%
転 落	93	73	90	107	108	3.7%
悪 天 候	37	64	42	70	18	0.6%
野生動物襲撃	34	42	48	43	42	1.4%
落 石	12	17	16	25	16	0.5%
雪 崩	8	20	9	17	8	0.3%
落 雷	5	3		1		
鉄 砲 水	18	7	2		2	0.1%
有 毒 ガ ス		1				
そ の 他	136	83	108	128	146	5.0%
不 明	47	58	65	78	71	2.4%
合 計	2,465	2,713	2,794	3,043	2,929	100.0%

◆年令層別山岳遭難者

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
20 歳 未 満	165	230	153	201	174	5.9%
20 ～ 29	199	236	222	228	194	6.6%
30 ～ 39	263	251	281	277	291	9.9%
40 ～ 49	267	332	333	372	366	12.5%
50 ～ 59	343	406	402	397	421	14.4%
60 ～ 69	681	686	744	791	746	25.5%
70 ～ 79	451	466	537	609	565	19.3%
80 ～ 89	92	97	114	151	161	5.5%
90 歳 以 上	3	9	6	14	10	0.3%
合 計	2,465	2,713	2,794	3,043	2,929	100.0%

◆単独登山者の遭難状況

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
遭 難 者	757	852	941	1,068	988	100.0%
死者・行方不明者	149	164	190	185	184	18.6%
死 者	119	131	160	160	150	15.2%
行 方 不 明 者	30	33	30	25	34	3.4%
負 傷 者	256	284	291	350	327	33.1%
無 事 救 出 者	352	404	460	533	477	48.3%
全 遭 難 者 に 占 め る 単独登山中の遭難者の割合	30.7%	31.4%	33.7%	35.1%	33.7%	

◆都道府県別山岳遭難発生状況

都 道 府 県	発生件数	遭難者(人)	死者(人)	行方不明者(人)	負傷者(人)	無事救出(人)
長 野 県	272	303	43	6	150	104
北 海 道	206	232	24	2	59	147
東 京 都	151	167	14	—	65	88
富 山 県	116	128	9	2	61	56
愛 知 県	24	33	1	1	12	19

平成29年度全国自然保護委員総会

自然保護の取り組みや伝統物視察

自然保護委員長 栗木洋明

9月9～10日の2日間、石川県白山市の白峰にある白山国立公園センターで開かれた「平成29年度全国自然保護委員総会」と「第41回山岳自然保護の集い・白山大会」に参加してきました。

当日は、全国30の都府県の自然保護担当者や日本山岳・スポーツクライミング協会の役員、地元、石川県山岳協会の方々から総勢約百名の参加者でした。今年は白山が開山千三百年ということで主催者をはじめ、石川県の関係者の方々が特に力が入っているようで、また全国30の都府県の代表が集まったのも過去最高とのことでした。

開会式では、日山協・松隈豊自然保護委員長が挨拶、石川県山岳協会・石森長博副会長が、開山千三百年を迎えた白山をテーマに「白山信仰と文化遺産」という基調講演をされ、開祖泰澄のエピソードや、山麓で守られてきた下山仏、多彩な高山植物など詳しく紹介され、大変感銘を受けました。

その後、各都府県の代表から、それぞれ独自性のある取り組みが報告され、愛知県に於ても自然保護指導員との親

常任理事会

▼9月5日(火) OMCビル
〔出席者〕安藤会長、高橋副会長、岩瀬副理事長、多田、岩狭、栗木、星、高木、谷澤、相山、木田(陽)、関谷各常任理事、中等等顧問

1. 報告事項
I 全国高等学校登山大会(7/30～8/3山形)
2. 第2回Jrクライミング講習会(8/9ビッグロック名古屋) 岩狭
3. 第20回Jocジュニアオリエンピックカップ(8/12～14富山)

4. 全国ルートセッター研修会①(8/15～17富山)
5. 高体連夏期大会(8/22～24県民の森・海老沢) 岩狭
6. 少年少女登山教室(8/20鈴鹿・朝明渓谷) 安藤
7. その他
II 審議・お知らせ事項
1. 日山協自然保護委員総会(9/9～10白山市) 栗木
2. 県民登山教室説明会(9/12県スポ) 岩瀬
3. 県民登山教室②(9/23本宮山) 岩瀬
4. 中高年安全登山指導者講習会(9/22～24静岡) 安

センターを見学しました。一般見学では聞く事のできない詳しい説明を聞くことができました。2班は1泊2日の日程で快晴の下、白山登山にできました。

私は1班に参加し、白峰地区の歴史や文化について大変興味を持つことができた、有意義な時間を過ごすことができました。

今回、全国大会に参加して8月から就任の初仕事としては大変充実した2日間を過ごすことができました。自然保護委員長としての責任を自覚することになりました。まだまだ愛知県独自の特色ある取り組みがどんなところなのか、目処もついていませんが、まずは、自然保護指導員同士の親睦を深めていきたいという思いを強く持つ行事でした。

- 藤
5. 救助技術講習会(9/30)
 6. 県民登山教室③(10/28)
 7. 鈴鹿・朝明渓谷(岩瀬)
 8. 「山の日」を祝う会(10/28)
 9. 山の日(祝)会(10/28)
 10. ボルダリングジャパンカップの開催(12/9～10愛知プレイマウンテン)
 9. 第21回「遭難を考える」講演会(11/24県スポ)
 10. その他

編集後記



■今年はやっぱり風水害が多かった。近頃の台風は風と雨が同時にやってくる。以前は風の後に雨が降って来た記憶があるが、やっぱり気候変動の一因かな……

■今夏も暑さを感じつつ過ぎ去った。夏山は高山での稜線歩きは快適だが、低山にも楽しさがいっぱいある。特に蟬の声、ミンミンゼミの「ミンミンミンミン」という音感がなんともたまらず、つい出かけてしまった。(N)

冬山遭難対策会議

・12月19日(火)19時
・愛知県スポーツ会館
※リーダー又は代理の方は計画書10部持参下さい。

月 日	内 容
11. 7	常任理事会 (OMCビル)
11. 11	読図講習会 (大高緑地公園)
11. 11～12	高体連・新人大会 (釈迦ヶ岳)
11. 24	第21回「遭難を考える」講演会 (県スポーツ会館)
12. 5	常任理事会 (OMCビル)
12. 9～10	ボルダリングジャパンカップ (愛知プレイマウンテン)
12. 19	冬山遭難対策会議 (天気予報) 県スポーツ会館
12. 23～24	全国高校選抜クライミング選手権 (埼玉)
1. 9	常任理事会 (OMCビル)
1. 16	高校登山部委員会 (県教育会館)
1. 23	指導員集会 (豊橋) 1.30 県スポーツ会館 第4回理事会



観光庁長官登録旅行業第490号/(社)日本旅行業協会正会員

ALPINE ツア サービス

海外トレッキング/世界の山旅 専門旅行会社

まずは「ツアーカタログ」ご請求下さい

個人&グループでのご利用お待ち申し上げます

名古屋営業所 TEL: 052-581-3211

〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-2 第3千福ビル3階

FAX: 052-561-8338 E-mail: nagoya@alpine-tour.com

ホームページ http://www.alpine-tour.com

◆11月スケジュール